

広報りくぜんたかた Takata

4

April 2024
No.1165

卒業記念・桜植樹祭（3月17日）

※関連ページ（P 21）

桜舞う未来への
第一歩

主な内容

- P2 特集START 令和6年度
（施政方針、教育行政方針、令和6年度予算、市職員配置）
- P12 市役所からのHOT LINE
- P17 観光インフォメーション
- P21 地域の話
- P22 INFORMATION

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

11 気候変動
への取り組み

12 つくば未来
の持続性

1PPON
MATSU

陸前高田市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

施政方針



【全文はこちらから】

令和6年市議会第1回定例会(3月定例会)は、2月21日(水)から3月22日(金)まで開かれ、初日に佐々木市長が施政方針を述べました。ここでは内容の一部を抜粋して紹介します。(全文は市ホームページに掲載しています。)



思っていただけのような将来に夢を持てるような取組を推進してまいります。

能登半島地震によって亡くなられた方々に哀悼の誠を捧げるとともに、被災者の皆様に改めてお見舞いを申し上げます。

本市は、石川県能登地方を含む全国の皆様から支援をいただき、復興を進めてまいりました。震災から13年を迎え、非常に長い間、復興に取り組んでいる本市におきましては、能登地方の復旧・復興に向け、息の長い支援に努めてまいります。

本市における東日本大震災からの復興につきまして、ハード面での復興事業がおおむね完了した中、将来にわたって、市民の皆様が安心して豊かに暮らしていける、経済的にも自立したまちとして発展できるような各種施策に引き続き取り組んでまいります。

本市の将来を担う子供、若者、子育て世代に対する支援につきましては、若い世代に対して本市に生まれて良かった、これからも本市で暮らしていきたいと

選挙時の公約として掲げました「大学誘致」につきましては、本市とともに陸前高田グローバルキャンパスを運営する岩手大学、立教大学の両大学から、国立大学と私立大学の垣根を越えて単位取得できる合同講義を、本市の施設において実施できないか検討したいとお話をいただいたところで、今後におきましても、両大学と連携を図りながら、実現に向けて努力してまいります。

本年度は、「陸前高田まちづくり総合計画」の後期基本計画期間の初年度となることから、前期基本計画の取組の成果や新たな課題などに基づき、必要な施策を検討するとともに、東日本大震災からの復興についても、心のケアなどのソフト事業を中心とした事業を実施し、新たなまちづくりと真の復興に向けて、引き続き取り組んでまいります。

「」の活動を支援することにより、平時からの共助の構築も図ってまいります。

④子どもたちを健やかに育むまちづくり
全ての妊産婦を対象に専門職などによる面談を行い、支援を要する妊産婦に対し伴走型相談支援を行います。引き続き、本市独自の取組として18歳までの国民健康保険の被保険者がいる世帯の国民健康保険税の減免を実施し、妊娠時および出生時に各々5万円の出産・子育て応援給付金を給付します。

また、3歳児以上の保育所、保育園の副食費の無償化や、第2子以降の保育料無償化などを引き続き実施するほか、ふるさと納税を活用した市独自施策である子育て応援クーポン券の交付により、子育て世帯への切れ目のない支援に努めてまいります。

▼子育て費用の負担軽減
一部の子育て支援センターを土日に開所できるように体制整備を進めるほか、保育所、保育園の園庭開放の拡大を検討するとともに、子育て世代の方々などから強い要望のある児童公園の設置について、市民の皆様をはじめとする関係者に意見を聞くことから作

▼児童の遊び場の提供
▼防災集団移転促進事業
移転者に対し土地の購入などの助成を行うとともに、住宅団地の空き区画の解消に向け、被災の有無を問わず市内外の方への一般分譲を推進し、取得した移転元地については、適正な維持管理に努め、広く貸付や譲渡の周知を行い土地の有効活用を図ってまいります。

▼国道・県道
新世ノ田トンネル整備、国道343号などの県管理国道、主要地方道および一般県道の改良につきましては、早期の事業着工、整備に向けて関係機関への要望を行ってまいります。

▼市道
横田小学校の通学路となっている狩集久連坪線など、通



「まちづくり総合計画」に掲げる8つの基本目標における主要施策

①復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり

▼道路整備
整備された道路および海岸保全施設などのインフラの維持管理を適正に実施し、安全・安心な環境の維持に努めてまいります。

▼防災集団移転促進事業
移転者に対し土地の購入などの助成を行うとともに、住宅団地の空き区画の解消に向け、被災の有無を問わず市内外の方への一般分譲を推進し、取得した移転元地については、適正な維持管理に努め、広く貸付や譲渡の周知を行い土地の有効活用を図ってまいります。

②快適に気持ちよく暮らすまちづくり
▼国道・県道
新世ノ田トンネル整備、国道343号などの県管理国道、主要地方道および一般県道の改良につきましては、早期の事業着工、整備に向けて関係機関への要望を行ってまいります。

▼市道
横田小学校の通学路となっている狩集久連坪線など、通

業を始めることとします。

⑤ともに支え、健康に暮らすまちづくり
▼共生のまちづくり
4月から「陸前高田市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」を開始し、誰もが多様性を認め合い、個性を持つ個人として尊重される社会の実現に向けて取り組むとともに、引き続きユニバーサルデザインのお店認証制度を活用した「みんなにやさしいまちづくり・お店づくり」を推進してまいります。

また、移動困難者の通院、買い物などの社会参加を支援することにより、生活の維持や質の向上を図るため、引き続きふるさとタクシー助成事業を実施してまいります。

▼スポーツを通じた健康づくり
各種スポーツイベントを開催し、気軽にスポーツに取り組むことができる機会を提供するとともに、夢アリーナをかたをはじめ、体育交流施設の利用促進を図り、各種競技大会開催の奨励、スポーツ合宿や各種イベントの誘致に取り組む、スポーツに対する意識の醸成、市民相互の親睦と生活習慣病の予防など心身の健康増進を図ってまいります。

▼公共交通
4月から岩手県交通陸前高田住田線の廃止に伴う代替バスを運行するとともに、人工知能(AI)による予約・配車システムといった多様な先進技術の導入の検討など、利便性、効率性の向上を図りながら、令和6年度から5年間の「陸前高田市地域公共交通計画」に基づき、持続可能な公共交通体系の構築を進めてまいります。

▼住宅
工事費用の一部を地域商品券で助成することにより、住環境の改善および地域経済の活性化を図るとともに、住宅の省エネ改修などに要する経費の一部を助成する制度を新たに創設し、住宅・建築物のカーボンニュートラルに係る取組を進めてまいります。

また、「空家等対策計画」に基づき、空家の有効活用や周囲に悪影響を及ぼす空家の

⑥市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり
▼協働によるまちづくりの推進
NPO法人やボランティア団体などが地域の課題解決のために自主的・主体的に行う取組を支援するため、「まちづくり団体活動補助金制度」などにより、まちづくり活動と地域活性化を推進してまいります。また、地域住民が地域課題の解決に自ら積極的に取り組む、創意工夫することにより持続性の高い活力ある地域コミュニティの形成を図るため、コミュニティ推進協議会を対象とする「地域交付金制度」を継続してまいります。

▼友好都市との交流
名古屋市、武雄市、クレセントシティ市をはじめ、本市を支援していただいている自治体や、川崎フロンターレ、東北楽天ゴールデンイーグルスとの様々な交流事業やイベント開催支援などについて推進してまいります。

武雄市との交流につきましては、市民相互の交流促進を図るため、武雄市への宿泊を伴う旅行をした市民に奨励金を交付する事業を継続するほか、クレセントシティ市との交流につきましては、県立高

学路安全点検により整備が必要とされた通学路の整備のほか、広田町の高見線などの生活道路の改修や玉山線などの法面対策工事を実施してまいります。

4月から岩手県交通陸前高田住田線の廃止に伴う代替バスを運行するとともに、人工知能(AI)による予約・配車システムといった多様な先進技術の導入の検討など、利便性、効率性の向上を図りながら、令和6年度から5年間の「陸前高田市地域公共交通計画」に基づき、持続可能な公共交通体系の構築を進めてまいります。

▼住宅
工事費用の一部を地域商品券で助成することにより、住環境の改善および地域経済の活性化を図るとともに、住宅の省エネ改修などに要する経費の一部を助成する制度を新たに創設し、住宅・建築物のカーボンニュートラルに係る取組を進めてまいります。

また、「空家等対策計画」に基づき、空家の有効活用や周囲に悪影響を及ぼす空家の



▼芸術文化
市民芸術祭の開催などによる発表の場の創出に加え、子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が芸術文化に触れる機会を設け、市民の皆様の芸術文化活動への参加意識の高揚を図ってまいります。

③安全・安心で環境にやさしいまちづくり
▼防災情報の伝達
防災行政無線設備の更新と併せて、全国で初めて導入した「オートコールとAIによる災害時双方向情報伝達システム」の運用により、防災機能の強化を図ってまいります。

▼地域防災力の向上
津波および洪水・土砂災害を想定した避難訓練の実施や、昨年11月5日の「津波・防災の日」に実施し、好評を博した「消防・防災フェスタ」などのイベントを開催することで、市民の防災意識の向上に努めてまいります。

▼防災教育
防災に関する知識の普及を図るため、引き続き防災マイスター養成講座や、出前講座を開催してまいります。また、防災マイスターの有志で結成された「防災マイスターの集

」の活動を支援することにより、平時からの共助の構築も図ってまいります。

▼子育て費用の負担軽減
全ての妊産婦を対象に専門職などによる面談を行い、支援を要する妊産婦に対し伴走型相談支援を行います。引き続き、本市独自の取組として18歳までの国民健康保険の被保険者がいる世帯の国民健康保険税の減免を実施し、妊娠時および出生時に各々5万円の出産・子育て応援給付金を給付します。

また、3歳児以上の保育所、保育園の副食費の無償化や、第2子以降の保育料無償化などを引き続き実施するほか、ふるさと納税を活用した市独自施策である子育て応援クーポン券の交付により、子育て世帯への切れ目のない支援に努めてまいります。

▼児童の遊び場の提供
一部の子育て支援センターを土日に開所できるように体制整備を進めるほか、保育所、保育園の園庭開放の拡大を検討するとともに、子育て世代の方々などから強い要望のある児童公園の設置について、市民の皆様をはじめとする関係者に意見を聞くことから作

業を始めることとします。

⑤ともに支え、健康に暮らすまちづくり
▼共生のまちづくり
4月から「陸前高田市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度」を開始し、誰もが多様性を認め合い、個性を持つ個人として尊重される社会の実現に向けて取り組むとともに、引き続きユニバーサルデザインのお店認証制度を活用した「みんなにやさしいまちづくり・お店づくり」を推進してまいります。

また、移動困難者の通院、買い物などの社会参加を支援することにより、生活の維持や質の向上を図るため、引き続きふるさとタクシー助成事業を実施してまいります。

▼スポーツを通じた健康づくり
各種スポーツイベントを開催し、気軽にスポーツに取り組むことができる機会を提供するとともに、夢アリーナをかたをはじめ、体育交流施設の利用促進を図り、各種競技大会開催の奨励、スポーツ合宿や各種イベントの誘致に取り組む、スポーツに対する意識の醸成、市民相互の親睦と生活習慣病の予防など心身の健康増進を図ってまいります。

▼公共交通
4月から岩手県交通陸前高田住田線の廃止に伴う代替バスを運行するとともに、人工知能(AI)による予約・配車システムといった多様な先進技術の導入の検討など、利便性、効率性の向上を図りながら、令和6年度から5年間の「陸前高田市地域公共交通計画」に基づき、持続可能な公共交通体系の構築を進めてまいります。

▼住宅
工事費用の一部を地域商品券で助成することにより、住環境の改善および地域経済の活性化を図るとともに、住宅の省エネ改修などに要する経費の一部を助成する制度を新たに創設し、住宅・建築物のカーボンニュートラルに係る取組を進めてまいります。

また、「空家等対策計画」に基づき、空家の有効活用や周囲に悪影響を及ぼす空家の



田高校の生徒の派遣交流事業を6年ぶりに再開し、国際感覚豊かな人材の育成と更なる交流の促進に努めてまいります。

▼移住・定住の促進

移住ツアーやお試し居住体験を引き続き実施し、新規移住者の拡大を図るとともに、移住者や若者の住宅取得支援補助金により定住を支援してまいります。

①活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり

▼農業の振興

米崎町佐野地区の簡易給水施設を上水道区域へ切り替える工事へ補助を行うほか、農業用ため池の安全対策や、排水路の整備および改修とともに、不要となったため池の廃止を進めてまいります。また、岩手県と協力し、横田町金成地区のほ場整備事業の完了に向けた事務を進めるとともに、農業生産基盤の強化に努めてまいります。

▼林業の振興

国の新規就農者育成総合対策などを活用するとともに、定年帰農者を想定した地域農業担い手育成事業費補助金を活用し、就農を支援してまいります。

▼商工業の振興

地域ブランド米「たかたのゆめ」を市内保育施設や小中学校で米飯給食として使用することを継続するとともに、栽培技術の確立を目指すほか、化学農薬や、化学肥料の使用量を低減する特別栽培の普及を推進してまいります。

また、近年、鳥獣の目撃情報が多く寄せられていることから、引き続き市鳥獣被害対策実施隊による捕獲の推進や、新規狩猟免許取得者などに対する支援を継続し、担い手の確保に努めてまいります。

▼水産業の振興

貝毒の問題につきましては、従来から本件の研究に取り組んでいる東北大学と連携しつつ、県水産技術センターなどにも働きかけながら、発生原因の究明、発生防除の取組を進めるとともに、貝毒検査に係る費用への補助や共済制度への加入を促進することにより、生産者への支援を行うてまいります。

▼観光の振興

昨年、震災後初めて年間の観光入込数が130万人を突破し、今後も増加が見込まれることから、引き続き地域資源を活かした体験型観光を強化するため「ブルーツーリズム」を推進するほか、「みちのく潮風トレイル」や「日本遺産みちのくゴールド浪漫」「三陸ジオパーク」などの三陸の「自然・歴史・文化」を活用し、交流人口・関係人口の拡大に向けた取組を進めてまいります。

教育行政方針

郷土で学び夢を拓く、心豊かでたくましい人づくり



【全文はこちらから】

市教育委員会では、令和6年度から10年度までの5年間の計画期間とする「第10次陸前高田市教育振興基本計画」の策定に当たり、令和5年8月に、本市の教育行政を進めていく上でのビジョンとなる「教育大綱」を改定したところであります。

今後は、「教育大綱」に掲げる基本理念である「学びを通じて、未来を創造する、心豊かでたくましい人づくり」を軸に、「自ら考え、判断し、たくましく生き抜いていく力の育成」など、6つの基本方針をスローガンとして、新たな教育振興基本計画に掲げる26の基本施策を着実に進めるとともに、先人たちが築き上げてきた「時代を超えて変わらない価値のあるもの」を重視しながら、「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」を取り入れていく「不易流行」の考え方を基本として、教育振興基本計画を推進してまいります。

①自ら考え、判断し、たくましく生き抜いていく力の育成

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む教育を推進するとともに、ICT教育や防災教育に取り組んでまいります。

②一人ひとりを大切にした学校教育の推進

「子どもたちの心のケア」「配慮を必要とする子どもへの支援」「学校不適応解消に向けた支援」「いじめ防止の啓発や対策」「教育のための経済支援」など、「誰一人取り残されない学びの保障」に努めてまいります。

③学校、家庭、地域が一体となった教育の推進

「コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進」「家庭教育の推進」「子育て支援」に取り組んでまいります。

また、観光入込による経済効果を市内全体に波及させるため、引き続き市内宿泊施設での割引きと合わせた地域クーポン券の発行や観光バスポート「たかた旅バス」による周遊キャンペーンを市内事業者と連携しながら実施してまいります。

④安全・安心な教育環境の整備

「学校施設の老朽化対策」「通学路の安全性の確保」に取り組んでまいります。

⑤生涯学習を通じた地域共生社会の実現

「生涯学習の推進」「学習機会の提供」「学びを通じた地域づくり」を推進するとともに、市立図書館の利便性の向上、市立博物館の展示を通じた交流人口の拡大や地域の活性化に努めてまいります。

⑥価値ある歴史・伝統・文化の充実と次世代への継承

「文化財の保存活用」「子どもたちの芸術文化の体験機会の確保」を推進し、市民の誇りと郷土愛を育み、地域のDNAをまちづくりに生かす取り組みを進めてまいります。

⑧市民にわかりやすく健全な行財政運営

納税者の利便性の向上を図るため、電子納税などの多様な納付手段の周知に努め、市税の納期内の納付を促すことにより、新たな滞納の発生を防止するとともに、市税の適正な賦課、徴収により、納税者個々の事情に十分に配慮しつつ、租税負担の公平性の観点から、未納税額の縮減により一層努め、自主財源の確保を図ってまいります。

また、多様化・複雑化する行政課題に対して限られた予算・人員で対応する必要があることから、知識、能力の習得や接遇向上を目的とした研修を実施し、サービスの向上に努めるとともに、業務の効率化・変革に向けてデジタル技術の活用を推進してまいります。



いしかりふみひろ 石渡史浩氏(56)が副市長に就任



3月22日(金)の令和6年市議会第1回定例会で、東北地方整備局企画部の石渡史浩氏が新たに副市長に選任され、4月1日付で就任しました。

就任した石渡氏は「これまでの経験を生かしながら、市民の皆さんが安心して暮らせるまちづくりに向けて、市長をバックアップしていく。また、陸前高田市をよりよいまちにできるよう、1つずつやるべきことを進めていきたい」と今後の意気込みを語りました。

略歴

昭和61年	青森県八戸工業高等学校土木科卒業
同年	建設技官採用
平成25年	東北地方整備局仙台河川国道事務所道路管理第二課長
令和3年	東北地方整備局三陸国道事務所長
令和4年	東北地方整備局企画部震災対策調整官



令和6年度 主な新規事業などの内容



3歳児以上の保育所・保育園の副食費を無償化します

- 3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり**
- NEW** 津波避難計画策定に係るシミュレーションを行う経費 1,387万円
- NEW** 救助対応型水槽付消防ポンプ自動車を購入するための経費 1億1,000万円
- 計 39 事業 11億4,080万円



各種スポーツイベントで市民の健康づくりを推進します

- 6 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり**
- NEW** 横田基幹集落センターの改修設計を行う経費 784万円
- 計 16 事業 2億1,994万円

- 7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり**
- NEW** 教育旅行の受け入れ拡大を目指すための誘致活動を行うための経費 543万円
- NEW** クレセントシティ市との高校生派遣交流事業に要する経費への補助金 731万円
- 計 60 事業 15億1,422万円

- その他（人件費、管理事務経費など）**
- 計 80 事業 20億7,772万円
- 総計 402 事業 169億5,000万円**

NEW = 新規事業

「陸前高田市まちづくり総合計画」で掲げる基本目標ごとに、事業を紹介します。

1 復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり

- 旧吉田家住宅主屋復旧事業の経費 4億4,237万円
- コミュニティ形成促進と被災者の見守り事業の経費 1,930万円
- 計 9 事業 5億5,841万円

2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり

- NEW** 住宅の所有者が省エネ化を推進するために要する経費への補助金 425万円
- 計 43 事業 30億1,493万円

4 子どもたちを健やかに育むまちづくり

- NEW** 子どもの居場所づくりなどを行う団体の活動支援に要する経費への補助金 50万円
- NEW** 中学校の特別教室などエアコンを設置する経費 6,688万円
- 計 75 事業 19億2,268万円

5 ともに支え、健康に暮らすまちづくり

- NEW** 介護・障がい施設で働く職員の奨学金返還に要する費用への補助金 300万円
- NEW** 高田松原運動公園内にジョギングコースの案内看板を設置する経費 100万円
- 計 50 事業 30億6,657万円



姉妹都市であるクレセントシティ市との交流を推進します

8 市民にわかりやすく健全な行政運営

- NEW** 各種会議の出欠確認などをインターネットを通じて行うシステム運用の経費 104万円
- 計 30 事業 34億3,473万円

お知らせ
市の財政状況は、市公式ウェブサイトでも公開しています。
◆市ホームページアドレス
<https://www.city.rikuzentakata.iwate.jp/>
『市政・市の計画』 - 『市の概要』 - 『財政』 - 『財政状況』

令和6年度 予算 一般会計 169億5,000万円 ~対前年度比7.1%増~

令和6年度の一般・特別・企業会計の各予算が市議会で可決されました。一般会計169億5,000万円、特別会計52億3,887万円、総額221億8,887万円を計上しました。

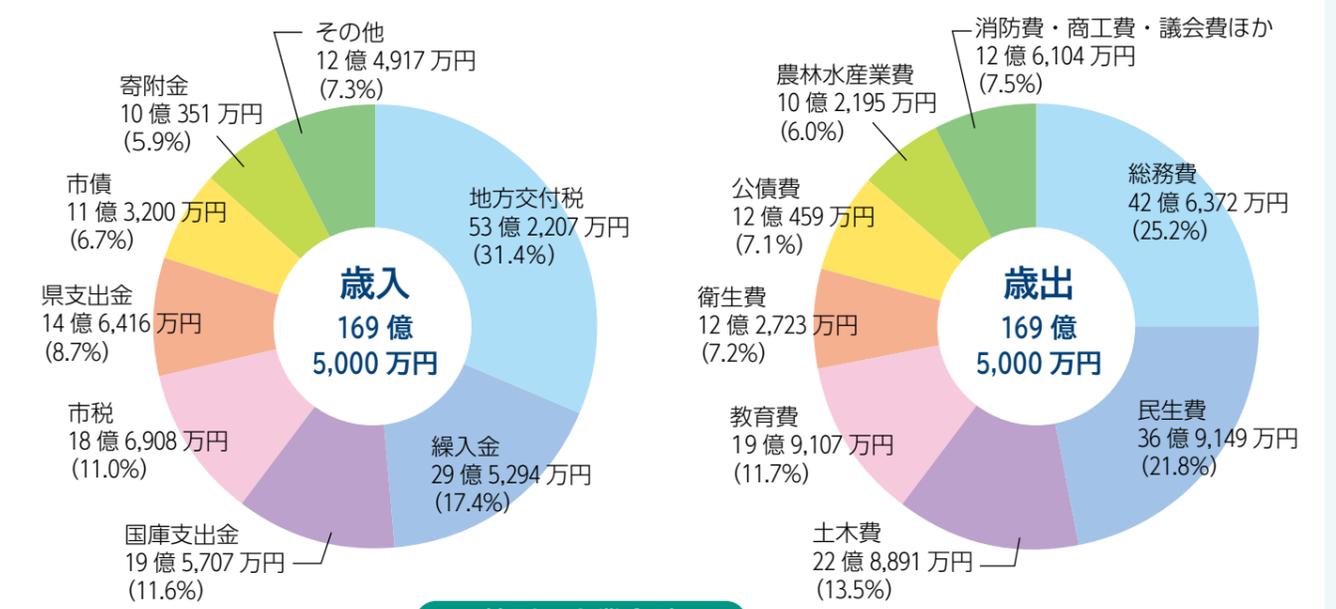
本年度は、原油価格・物価高騰対策を考慮した上で、市内経済活性化への取り組み、復興まちづくり、産業振興、交流人口拡大および人材育成などを重点におき、積極的に取り組む予算となります。

また、「陸前高田市まちづくり総合計画」の後期基本計画の初年度となることから、これまでの事業実施の成果、住民ニーズなどの検証を行い、「次世代につなげる持続可能なまちづくり」を推進します。



子ども達が健やかに成長できるよう子育て支援を行います

一般会計 対前年度比7.1% ()は構成比です。



特別・企業会計

会計名		予算額	前年度当初比	
特別会計	国民健康保険 事業勘定	21億3,379万円	+1.2%	
	国民健康保険 診療施設勘定	1億8,020万円	+7.6%	
	後期高齢者医療	2億8,540万円	+11.4%	
	介護保険 保険事業勘定	26億1,605万円	+0.7%	
	介護保険 介護サービス事業勘定	2,342万円	-3.3%	
合計		52億3,887万円	+1.6%	
企業会計	水道事業 収益的収入	6億454万円	+0.1%	
	水道事業 収益的支出	5億8,280万円	-5.6%	
	水道事業 資本的収入	3億3,704万円	+65.3%	
	水道事業 資本的支出	5億4,664万円	+20.8%	
	下水道事業 収益的収入	10億5,723万円	-8.5%	
	下水道事業 収益的支出	7億7,233万円	-3.6%	
		資本的収入	1億1,585万円	-14.4%
		資本的支出	4億6,397万円	-5.3%

※文中及び表内にて、単位金額以下を端数調整しています。

問い合わせ先 市役所財政課財政係(内線323)

1F

<p>市民課</p> <p>課長 白井 秀子 課長補佐兼登録係長 吉田 幸喜</p> <p>登録係</p> <p>主事 高橋 恒平 (任期付)</p> <p>総合窓口係</p> <p>係長 岩脇 史絵 会計年度任用職員 鈴木 美也子 菅野 由美子 佐々木 智恵子 猪股 由紀</p>	<p>税務課</p> <p>課長 佐々木 学 課長補佐兼市民税係長 村上 幸義</p> <p>市民税係</p> <p>主任 望月 孝 主事 佐藤 広一郎</p> <p>資産税係</p> <p>係長 高橋 拓也 主任主事 佐藤 広樹 主事 黄川田 麻人</p>	<p>収納係</p> <p>係長 小松 公輔 副主任 齋藤 卓暢 主任主事 金野 暢</p> <p>会計年度任用職員 新沼 敦 柴田 一枝 佐藤 嵩洋 嶋村 華奈</p>	<p>保健課(国保係)</p> <p>国保係</p> <p>係長 佐々木賢也(兼) 主事 熊谷 春花 主事 斎藤 春樹</p> <p>【新採用】 主事 菊地 紘子 (任期付) 主事 畠山 連穂 (県後期高齢者医療広域連合 派遣)</p>
<p>まちづくり推進課</p> <p>市民協働部長兼まちづくり推進課長 村上 幸司 課長補佐兼コミュニティ係長 馬場 勝基</p> <p>コミュニティ係</p> <p>主査 内海 伸浩 (派遣 復興庁岩手県復興局)</p>	<p>主任主事 菅野 竜児 主事 本多 暁子 (任期付) 主事 横山 千佐 主事 中里 晃 (任期付) 主事補 菅井 広夢 【新採用】</p>	<p>生活環境係</p> <p>係長 小野 勝彦 主事 熊谷 和也 主事 金丸 翔太郎 【新採用】 副主任 尾形 良一 (岩手県沿岸南部広域環境組合 派遣)</p>	<p>会計年度任用職員 佐藤 きみえ 福田 敬子 菅野 泰葉</p>



山田 壮史 議会事務局長
千葉 達 教委教育次長兼管理課長
村上 知幸 地域振興部次長兼観光交流課長兼スポーツ交流推進室長
熊谷 重昭 地域振興部兼農林課長兼農業委員会事務局長
村上 幸司 市民協働部長兼まちづくり推進課長
細谷 勇次 福祉部長兼福祉課長兼こころの復興支援室長兼地域包括支援センター所長
高橋 良明 政策推進室長

課長級



金濱 幹也 会計管理者兼会計課長
菅野 洋 建設部上下水道課長
伊藤 芳光 地域振興部商政課長
佐々木 学 市民協働部税務課長
大友 真也 福祉部子ども未来課長
小野寺 一典 総務部財政課長
黒澤 裕昭 政策推進室企画調整監

2F

<p>保健課(保健係)</p> <p>課長 吉田 志真 課長補佐兼国保係長 佐々木 賢也</p> <p>保健係</p> <p>係長 遠藤 綾子 主任 鈴木 礼子 【新採用】</p> <p>主任保健師 藁島 さやか 【新採用】</p> <p>保健師 村上 有紗 保健師 水野 愛実 保健師 小澤 沙希 保健師 佐々木 累名 【新採用】</p> <p>栄養士 永山 智絵 看護師 岸 瑠奈 会計年度任用職員 松野 京子 千葉 幸枝</p>	<p>坂下 美咲 石川 りく 伊藤 志織 松田 佳菜</p> <p>こころの復興支援室</p> <p>室長 細谷 勇次(兼) 室長補佐 畠山 幸也(兼) 主任 村上 正一</p> <p>福祉課</p> <p>福祉部長兼福祉課長兼地域包括支援センター所長 細谷 勇次</p>	<p>課長補佐兼地域包括支援センター所長補佐 畠山 幸也</p> <p>介護係</p> <p>副主任兼介護係長 大和田 昌利 副主任 小野寺 歩 (派遣 奥州市)</p> <p>地域包括支援センター係長 千葉 春香 主任 菅野 絢子 主事 佐藤 隆 (任期付)</p> <p>保健師 浦生 紋子 保健師 高橋 成美 主事 大和田 沙織 主事 宮野 菜太 (派遣 盛岡市)</p> <p>主事 大友 結 (気仙広域連合 派遣)</p>	<p>福祉係</p> <p>係長 田宮 一樹 主査 浅井 敏克 主任主事 佐藤 範幸 (派遣 一関市)</p> <p>主事 北島 郁恵 主事 菅野 華帆</p> <p>会計年度任用職員 伊東 真知子 佐藤 忍 菅野 行江 菊池 朝子 吉田 鮎子 山田 邦子 清水 桂子 熊谷 理沙 鈴木 早矢香 浦嶋 愛美 佐々木 依里 荻原 佳菜 田中 美沙</p>
<p>会計課</p> <p>会計管理者兼会計課長 金濱 幹也 課長補佐 菅野 雅彦 主事 小林 ヒカル (任期付)</p> <p>会計年度任用職員 菅原 真紀</p>	<p>子ども未来課</p> <p>課長 大友 真也 課長補佐兼子育て支援係長 阿部 景子</p> <p>子育て支援係</p> <p>主任栄養士 佐藤 絵里 主任主事 金野 幸浩</p>	<p>主事 佐藤 美希 (任期付)</p> <p>子ども家庭係</p> <p>係長 浦生 恵美 主事 上部 裕子 【新採用】</p>	<p>主事 吉田 都 会計年度任用職員 菅原 実黄子 大沢田 ひろ子 佐々木 しおり 金澤 美生 金 里衣子</p>

<p>消防本部</p> <p>消防長兼消防司令長兼消防防災センター所長 菅野 泰浩 消防次長兼消防署長兼消防司令 及川 貴美人 救急救助係 消防司令兼救急救助係長兼消防署副署長 岡田 雅彦 警防係 消防司令補兼警防係長 小松 勲 予防係 消防司令補兼予防係長 熊谷 欽也 管理係 消防司令補兼管理係長兼通信指令係長 丹野 賢 通信指令係 消防司令補兼主任 黄川田 英児 消防司令補 松坂 享 消防副士長 芳野 亮人 (いわて消防通信指令事務協議会推進室 派遣) (岩手県防災航空隊 派遣)</p>	<p>防災局防災課</p> <p>防災局長 菅野 泰浩(兼) 課長兼防災対策監 中村 吉雄 課長補佐 村上 聡 主事 五十川 涼一 (派遣 名古屋市) 主事 佐藤 世一</p>
<p>消防署</p> <p>予防係</p> <p>消防司令補兼係長 村上 桂一 消防司令補兼主任 権藤 雄 消防士長 遠藤 翼 消防副士長 臺 和敬 消防副士長 新沼 心 消防士 宮城 隆宣 消防士 松田 藍琉</p> <p>管理係</p> <p>消防司令補兼係長 佐藤 浩樹 消防司令補兼主任 佐藤 浩二 消防司令補兼主任 菅野 伸 消防士 鈴木 宏斗 消防士 吉田 怜央 消防士 黒澤 宏太</p>	<p>警防係</p> <p>消防司令補兼係長 長尾 英樹 消防司令補兼主任 後藤 道治 消防司令補兼主任 金野 剛 消防副士長 金野 晴樹 消防副士長 佐藤 宏樹 消防士 貝山 淳平 消防士 志田 登生 【新採用】</p>
<p>救急救助係</p> <p>消防司令補兼係長 戸羽 一将 消防司令補兼主任 伊藤 章尋 消防士長 菅野 裕樹 消防副士長 荻原 拓也</p> <p>通信指令係</p> <p>消防司令補兼係長 佐々木 秀樹 消防司令補兼主任 村上 祐二 消防士長 新沼 宜徳 消防副士長 菅野 祥之</p>	

上下水道課

課長 菅野 洋
課長補佐 小泉 剛志

下水道係

係長 小野寺 涉
主任 佐々木 崇
主事 菊地 将大

業務係

係長 村上 裕太
副主幹 佐々木 清敏
主任 菅原 雅江
【新採用】

工務給水係

係長 長野 貴治
技師 高橋 忠彦
技師 高橋 開
会計年度任用職員 佐藤 秀則
井上 久美子

管理課

教育次長兼管理課長 千葉 達
課長補佐兼管理係長 及川 晃一郎

管理係

主任主事 熊谷 麻衣
主任主事 菅原 由紀也
主事 門馬 奈々

文化財係

副主幹兼文化財係長 佐々木 敦美
学芸員 曳地 隆元
主事 細谷 怜史
会計年度任用職員 石川 純子
小松 佳奈

学校教育課

課長 吉田 亜矢子
課長補佐 青山 豊英
主任主事 高橋 純基
主事 小野寺 李奈
会計年度任用職員 菅野 みゆき
吉家 秀明
寺澤 素子

佐藤 浜子
小松 隆司
金野 美恵子
村中 聖樹
渡部 友晴
佐藤 由希恵
田口 那宙
村上 美優

教育研究所

指導主事 芳門 淳一
指導主事 横沢 大
指導主事 藤原 哲

学校給食センター

所長 吉田亜矢子(兼)
副主幹 青山豊英(兼)
副主幹 岡 潤貴悦
副主幹 畠山 夕子

選挙管理委員会事務局

事務局長 千葉 恭一(兼)
局長補佐 佐々木 真理(兼)
選挙係長 小澤 巧

監査委員事務局

事務局長 中山 雅之
主任書記 吉田 ゆう子

高田小学校

用務員 村上 達也
会計年度任用職員 大和田 ちづ子

気仙小学校

主任用務員 木川田 隆俊

竹駒小学校

主任用務員 小林 邦明

横田小学校

主任用務員 村上 英也

広田小学校

主任用務員 村上 淳一

小友小学校

主任用務員 戸羽 謙一

米崎小学校

主任用務員 細田 覚

矢作小学校

主任用務員 佐々木 亮輔

高田第一中学校

主任用務員 及川 克政
会計年度任用職員 只 埜 辰雄

高田東中学校

主任用務員 菊池 静

会計年度任用職員 前川 英司

議会事務局

局長 山田 壮史
局長補佐 山口 透
主査 大和田 奈緒子
主任 志田 一朗

スポーツ交流推進室 総合交流センター(夢アリーナたかた) ☎ 0192(22)8448

室長補佐兼総合交流センター所長兼B&G海洋センター所長 村上 充
副主幹 山本 郁夫
会計年度任用職員 平野 久美子

博物館

館長 菅野 義則
副主幹兼主任学芸員 熊谷 賢
主事兼学芸員 佐々木 翔
主事兼学芸員 浅川 崇典

二又診療所

所長 岩井 直路
看護師 村上 博子
看護師 細谷 あゆみ
主任主事 小田 真美
会計年度任用職員 佐々木 ゆか

広田診療所

所長 坪井 潤一
看護師 菅野 三貴
看護師 藤井 縁
看護師 藤原 奈美
主事 山下 彩香

退職者(3月31日付)

理事(再任用) 戸羽 良一
会計管理者兼会計課長 鈴木 貴子
福社子ども未来課副主幹 佐藤 勝也
教委小友小学校主任用務員 佐藤 浩之
教委管理課主事 前角地 邦幸
教委高田第一中学校用務員(再任用) 千田 あけみ
任期付 福社部保健課主事 鈴木 真電子
福社部福祉課主事 菊田 育子
福社部福祉課主事 佐々木 雄
地域振興部商政課主事 松坂 典子
建設部上下水道課主事 佐藤 秀則
会計課主事 菅原 真紀
教委管理課主事 森 菜々子

高田保育所

所長 千葉 祐子
主任保育士 村上 雪絵
主任保育士 中野 亜紀
主任保育士 伊藤 真知子
主任保育士 菅野 裕美子
主任保育士 白山 理奈枝
主任保育士 松田 純枝

主任保育士 佐藤 泰子
保育士 佐藤 颯太
主任調理員 佐藤 夕子
会計年度任用職員 新沼 和子
笹崎 深雪
和泉 貴子

川端 あゆみ
藤井 一枝
菅野 有里
菅野 千秋
岩崎 佳子
及川 恵
伊藤 真由美

伊藤 美穂香
及川 可奈子
戸羽 絵梨子
菅野 順子
戸羽 逸子
岩金 瑞希
丸香 澄

荒木 夏姫

小友保育所

所長 熊谷 公子
主任保育士 吉田 和枝
主任保育士 熊谷 由加
主任保育士 菅野 陽子
主任保育士 佐々木 めぐみ
主任保育士 熊谷 千春
会計年度任用職員 細谷 亜矢子
坂口 優子

村上 久美
山中 裕美
新沼 央子
中田 裕香
吉田 杏里
河合 敦子
村上 美優
志田 遥菜

気仙保育所

所長 佐藤 恵子
主任保育士 菅野 香
主任保育士 山田 美加
主任保育士 大友 さおり
主任保育士 佐藤 志帆
保育士 川島 瑞穂
主任調理員 村上 由紀
会計年度任用職員 遠野 裕子

津田 明美
星 さゆり
金澤 はるみ
佐々木 絵里
新沼 直美
千葉 理央
菅野 里捺
中野 舞麻

政策推進室

政策推進室長 高橋 良明
企画調整監 黒澤 裕昭
室長補佐兼秘書係長 石川 聖恵

秘書係

主事 出沼 与夢

政策広報係

係長 畠山 拓也
企画主査 松木 翔
主任主事 菅野 文博
主事 清水 悠輔
(派遣 法政大学)

総務課

総務部長兼総務課長 千葉 恭一
課長補佐兼行政係長 佐々木 真理

行政係

主任 小澤 巧(兼)
主事 佐藤 直樹
主事 奥山 友里
(任期付)

職員係

係長 村上 利恵子
主任主事 田村 美結
主事 和田 悠晟

財政課

課長 小野寺 一典
主幹兼課長補佐 菅野 優

財政係

係長 熊谷 卓
主任主事 佐藤 綾

主事 小岩 希未
主事 谷内 聡恵
【新採用】

財産管理係

係長 阿部 将人
主任技師 水野 竜一

主事兼自動車運転手 白江 威晴
(任期付)
主事兼自動車運転手 村上 晃
(任期付)

観光交流課

地域振興部次長兼観光交流課長 村上 知幸
課長補佐兼定住交流係長 熊谷 直樹

定住交流係

主査 鎌田 伸利
(派遣 国際協力機構(JICA))
主事 若杉 紗香

観光係

係長 菅野 大樹
主事 大屋 佳輝
【新採用】
主事 阿部 一景
(任期付)

会計年度任用職員 ジャック ウッドキー Jack Woodke

商政課

課長 伊藤 芳光
課長補佐 佐々木 伸哉

商工係

係長 中山 竜一
主事 堺 貴也
(任期付)

ブランド推進係

係長 吉田 祐也
主事 佐藤 麻衣
会計年度任用職員 佐藤 美香

農林課

地域振興部長兼農林課長 熊谷 重昭
課長補佐 大和田 智広

農政係

係長 熊谷 剛

水産課

課長 石川 浩
課長補佐兼漁港係長 新沼 和人

漁港係

主任 鈴木 貴樹

水産係

係長 中川 健司
主任 岡 潤健悟

農業委員会事務局

事務局長 熊谷 重昭(兼)
局長補佐 佐々木 武晴
副主幹 菅野 光二
副主幹 大和田 智広(兼)
会計年度任用職員 後藤 由香利

建設課

建設部長兼建設課長 菅野 誠肇
課長補佐 伊藤 誠肇

管理係

係長 遠野 正隆
主査 佐藤 彰

主事 佐藤 雅紀
【新採用】

道路河川係

係長 遠藤 智嗣
副主幹 飛内 昭人
主事 菊池 遼馬

土地活用推進課

課長 高橋 宏紀
課長補佐兼土地活用係長 佐藤 賢

土地活用係

主事 水野 慎

都市計画係

係長 吉田 保永
主査 清藤 正司
(派遣 神奈川県)
主任 阿磨 宏

草刈用品を貸し出します



市では、市内の環境美化推進のため、草刈作業を行う個人および団体に対し、草刈用品を無料で貸し出しています。貸し出しを希望する場合は、市役所土地活用推進課に備え付けてある申請書に記入し、事前に提出をお願いします。

- ◆貸出期間…最大7日間
- ◆申込可能日…使用予定日の2ヶ月前より
- ◆申込方法…申請書を市役所へ提出



貸し出し可能な草刈用品

貸出物品	1回あたり貸出数量
刈払機	3台
自走式刈払機	1台
高枝切りハサミ	2本
ほうき	3本
くまで・レーキ	各3本
大型ちり取り	3個

※貸出状況によって、希望日の変更をお願いする場合や希望する数量を貸し出しできない場合がありますので、事前にご相談ください。

問い合わせ先 市役所土地活用推進課土地活用係(内線432・433)

移転元地の維持管理作業を行う自治団体を募集します



市では、防災集団移転促進事業により市が買い取った移転元地の草刈りや清掃などの維持管理作業を行う自治団体を募集しています。

- ◆対象…津波で被災した地域を活動範囲とする自治団体(構成人数10名以上)
- ◆内容…防災集団移転促進事業により市が買い取った移転元地の草刈りおよび清掃などの維持管理作業(概ね10月までに3回)
- ◆補助額…1㎡1回あたり11円
- ◆申込方法…申請書を市役所へ提出
- ◆申込期限…7月1日(月)



草刈りによる維持管理作業の様子

申請書のダウンロードなど、詳しくは市公式ウェブサイトをご覧ください



問い合わせ先 市役所土地活用推進課土地活用係(内線432・433)

後期高齢者医療制度の保険料率に変更されます



後期高齢者医療制度では、医療費などの自己負担額を除く費用(医療給付費)のうち公費が約5割、現役世代(0歳~74歳)が約4割を負担し、残りの約1割を後期高齢者医療保険料で賄っています。

被保険者数の大幅な増加や医療給付費の増加などを受け、必要となる費用を確保するため、令和6・7年度の保険料率を以下のとおり改定します。

個別に算出された年間保険料額は、7月に送付する通知書でご確認ください。

令和4・5年度			令和6・7年度		
保険料率	均等割額	40,900円	保険料率	均等割額	43,800円(*1)
	所得割率	7.36%		所得割率	8.53%(*2)
保険料の賦課限度額		660,000円	保険料の賦課限度額		800,000円(*3)

- ※1 所得の少ない人は、被保険者と世帯主の所得に応じて、均等割額軽減(7割・5割・2割)が適用されます。
- ※2 令和6年度保険料において、令和5年の基礎控除後の総所得金額などが58万円以下の人は、7.89%となります。
- ※3 令和6年度保険料において、生年月日が昭和24年3月31日以前または、障害認定により資格を取得した人は、73万円となります。

問い合わせ先 市役所保健課国保係(内線141)

景観条例・屋外広告物条例に関するお知らせ



市では、高田松原津波復興祈念公園の整備を契機として、良好な景観の形成を目的とした「陸前高田市景観計画」を平成30年に策定しています。市内で建築などを行う場合、事前に届け出る必要がありますので、ご注意ください。

景観条例による制限

市内で行う建築工事、工作物の設置などの行為には、高さや色彩などの基準が設定されており、一定規模を超える行為は、着手の1ヶ月前までに届け出が必要です。

屋外広告物条例による制限

設置する広告物の表示面積、色彩、高さ、形状および表示内容に基準が設定されており、一定面積以上の広告物を設置する場合は届け出が必要です。

申請書のダウンロードなど、詳しくは市公式ウェブサイトをご覧ください



なお、以下の重点景観地域では、場所によって基準が異なりますので、ご注意ください。

重点景観地域	主要な国道・県道・市道の周辺地域	復興祈念公園の周辺地域
	今泉の中心地域	アバッセたかた周辺地域

問い合わせ先 市役所土地活用推進課都市計画係(内線432・433)

教えて SDGs Sustainable Development Goals その先の笑顔のため、いまできること

★SDGsとは…

自分の子どもや孫たちが暮らす未来に、住みやすい地球(世界)を残すため掲げられた全世界の人が取り組むべき目標

本市は、令和元年(2019年)7月に「SDGs未来都市」に県内で初めて選定されました。「その先の笑顔のため、いまできること」編では、本市でSDGsの達成に向け積極的に取り組んでいる人・団体、関連イベントなどを紹介しています。

あなたもぜひSDGsに取り組んでみませんか？

「陸前高田市×法政大学 SDGsワークショップ2023」

令和5年8月3日(木)から令和6年3月14日(木)にかけて、本市と法政大学による「SDGsワークショップ」を実施しました。本市と法政大学は、令和元年に「SDGs推進連携協定」を締結し、令和2年度から、市内事業者と学生達によるワークショップを通じて、地域課題の解決に取り組んでいます。

令和5年度は、12人の学生が3チームに分かれ、現地でのフィールドワークや事業者との意見交換を重ねながら、地域課題の解決に向けたアイデアを出し合いました。



現地フィールドワークの様子
8/30(水)・31(木)



3月14日(木)にオンラインで実施した最終報告会では、佐々木市長や法政大学の廣瀬総長の出席のもと、学生達が本市の課題解決に向けた取り組みを発表しました。



高田暮舎Aチーム

「灯籠制作でまちと地域社会を明るく」

気仙大工の技と気仙杉を活かした灯籠を作り、灯籠の明かりで夜の市街地をもっと明るくしたいという提案を行いました。本市の資源と本市が誇る技術を組み合わせた街の活性化とブランド力の向上に関する取り組みをプレゼンしました。

参加した学生の感想

- ★事業者の仕事への熱意や陸前高田市への愛情を感じ、「こんな風に働ける大人になりたい」と感じました。
- ★陸前高田市の実情を聞いただけでなく、地域は違って色々な人と繋がり、親睦を深めることができました。参加して本当によかったです！

トナリノチーム

防災ワークショップの実施と震災伝承について

『防災を「難しい」から「楽しい」へ』をテーマに、手軽にそして役に立つ防災グッズの作成と「震災を経験していない世代の語り部の育成」についても提案を行いました。本市の防災に対する課題を大学生ならではの視点で見つけ、その解決法をプレゼンしました。

高田暮舎Bチーム

空き家の新しい利活用法について

本市に点在している空き家を職業体験施設や押し入れ農園のような形で若者に利活用してもらうという提案を行いました。空き家への居住という考えにとどまらない新たな視点での提案で、話題性と集客力を組み合わせた斬新な取り組みをプレゼンしました。

宝くじの社会貢献広報事業

国際交流事業を実施しました



市では、コミュニティ助成事業を活用し、NPO法人SETを実施主体とする、デンマーク、メキシコ、ポーランドからの受け入れプログラムを実施しました。受け入れプログラムでは、地域住民との交流や文化理解のワークショップなどを通じて、それぞれの国の文化に触れ、相互理解を深めることができました。

今後も、海外からの新たな視点やアイデアを取り入れながら、地域の魅力や文化を国際的に発信することで地域の異文化理解を推進していきます。



コミュニティ助成事業とは

宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している事業です。コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進および活力ある地域づくりなどに対して助成が行われています。

問い合わせ先 市役所観光交流課定住交流係(内線412)

気仙川・矢作川流域の皆さんへ

気仙川一斉清掃にご協力ください



市では、春の気仙川一斉清掃を行います。事前の参加報告は不要ですので、事業者や住民の皆さんのご協力をお願いします。

- ◆日時…4月21日(日)午前6時～7時(小雨決行)
- ◆実施区域…矢作町、横田町、竹駒町、気仙町今泉地区の気仙川本流・支流

◆その他

- ①市指定ごみ袋など透明なごみ袋を各自ご準備ください。
- ②荒天などにより中止する場合、前日の午前11時を目途に防災行政無線で連絡します。
- ③回収されたごみは、市の委託業者が収集しますので、可燃物と不燃物に分けて集積所にまとめて置いてください。集積所の場所については、事前に確認をお願いします。
- ④活動にあたっては、危険な場所を避け、参加者の安全第一をお願いします。



気仙川一斉清掃の様子

問い合わせ先 気仙川清流化推進協議会事務局(市役所まちづくり推進課生活環境係)(内線126・127)

大空に広がるエンターテインメント性を重視した
「三陸花火大会2024」を以下の日程で開催します。

「三陸花火大会2024 -SANRIKU FIREWORKS FESTIVAL-」

- ◆開催日…4月28日(日) ※荒天中止
- ◆打ち上げ時間…午後7時～8時30分(予定)
- ◆開催場所…高田松原運動公園(有料観覧席)
※アバッセたかた周辺のみちなかエリアでは、屋台の出店もあります(入場無料)
- ◆市民優待…地元割エリアB自由席1,000円(市民のみ購入可)
【販売場所】アバッセたかたインフォメーション
【販売時間】午前9時～午後7時 ※購入時には身分証明書が必要です。

花火大会当日は、アバッセたかた周辺かさ上げ地一帯で大規模な交通規制が行われます。

◆三陸花火大会2024交通規制図



◆協力のお願い

- ・夢アリーナたかた駐車場、奇跡の一本松ホール駐車場、中心市街地の一部公共駐車場および市有地は、花火大会で使用するため、前日または前日夕方から使用できなくなります。
- ・私有地への無断駐車を防止するため、出入り口を塞ぐなどの対策をお願いします。
- ・道路上で停車し、警備員などへの問い合わせを行うと、交通渋滞や事故に繋がる恐れがあり危険ですので、周辺の交通規制について事前に確認をお願いします。

有料観覧席
チケットは
こちらから
購入できます



問い合わせ先 三陸花火競技大会実行委員会 ☎050(5526)3851
市役所観光交流課観光係(内線414)

地域おこし協力隊

移住定住促進分野

Profile

たかはし
高橋

りょう
諒さん(28才)

出身地…岩手県盛岡市
所属…NPO法人高田暮舎
着任日…令和4年10月1日



令和4年9月に陸前高田市に移住し、10月に着任しました。広田湾や気仙川に足を運び、釣り三昧の生活を送っています。また、米崎りんごやわかめなどのお裾分けをいただいたりと、食でも陸前高田を満喫しています！

☑ 協力隊に応募したきっかけ

私は、幼少期から建築の道を目指していました。中学3年生の卒業間際に東日本大震災を経験し、その時から、建築を通して、将来は生まれ育った岩手を支えていきたいという思いがありました。大学卒業後は、横浜市で建築現場の現場監督として勤務し、令和4年にステップアップとして地域おこし協力隊に応募しました。

☑ 活動内容について

陸前高田市の空き家バンク事業を担当しています。お家の将来で悩んでいる人の相談を受け、解決へ向けたお手伝いをしているほか、移住を検討している人への空き家紹介を行っています。小さなことでも構いませんので、お家の悩みなどがある人はぜひご相談ください。



地域おこし協力隊

移住定住促進分野

Profile

いしだ ゆか
石田裕夏さん(36才)

出身地…新潟県
所属…NPO法人高田暮舎
着任日…令和5年4月1日



京都府から家族3人で、一度も訪れたことがなかった陸前高田市に移住し、令和5年4月に着任しました。4月には子どもが小学校に入学。新生活のスタートに親子ともどもワクワクしています！

☑ 協力隊に応募したきっかけ

陸前高田市に移住を決めた時、移住定住促進分野の地域おこし協力隊の募集がありました。知り合いも誰もいない状態の中で、仕事を通して地域内外問わず色々な人と関わりを持つことに魅力を感じ、また、私自身の移住経験がきっと役に立つと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

☑ 活動内容について

移住コンシェルジュとして、移住前から移住後までのトータルサポート(移住・定住相談、現地案内、移住検討者・移住者向けイベントの企画・運営など)や広報などの業務を行っています。前年度は、陸前高田市の「自然」や「食と文化」、そして「人の温かさ」にフォーカスした移住検討者向けの2泊3日の移住体験ツアー「お試し高田暮らし」を2回開催し、陸前高田市の暮らしを存分に体験していただきました。移住経験者として、あらゆる方面から移住者をサポートできるよう、今後も頑張ります。





お弁当届けます！
高齢者世帯見守り事業

市では、令和2年度から実施している「高齢者世帯に対し、市内飲食店などで作られた夕食を配達する事業」を本年度も行います。事業についての詳細など、お気軽にお問い合わせください。



お弁当の例

◆対象
 70歳以上の高齢者のみで構成された世帯

◆料金
 450円(配達料無料)

◆配達期間

6月～7年3月
 ※前年度から継続の場合：5月～7年3月

◆利用できる回数

1人につき週1回(月4回程度)

◆配達日

月曜日：小友町・広田町
 火曜日：矢作町・横田町
 水曜日：竹駒町・気仙町・米崎町
 木曜日：高田町

◆配達時間

午後3時30分～6時

◆申込先

陸前高田まちづくり協働センター
 ☎0192(47)4776
 問い合わせ先 地域包括支援センター(内線219)



お弁当受け渡しの様子

506
保健だより



がんを予防しよう！

がんは生活習慣の改善やワクチン接種などで予防することができます。

また、多くの難病と違い、早期発見・早期治療である程度コントロールすることができ

◆禁煙でがんを予防しよう！

特に男性の生活習慣改善で大切なのは「禁煙」です。

タバコの煙には発がん性物質が含まれており、のどや肺のガンだけでなく、すい臓がん、肝臓がんなど難治性のがんを発症する確率を高めます。タバコがなくなれば、男性のがん死亡の3割が消滅するといわれています。

これを機に、禁煙にチャレンジしてみたいかがでしょうか。

◆ワクチン接種で予防できる「がん」をこ存じですか？

子宮頸がんは、欧米では、高いワクチン接種率と検診率により、過去のがんになりにつつあります。しかし、日本では積極的に接種が勧められなかった期間があり、その期間の接種率はほ

ぼゼロでした。現在は、ワクチンの安全性と有効性が改めて認められ、小学6年生(平成24年度生まれ)～高校1年生相当(平成20年度生まれ)の女子は、無料でワクチンを接種することができます。ワクチンを接種して、子宮頸がんを予防しましょう。

また、積極的に接種が勧められなかった時期に接種対象年齢だった平成9年度～平成19年度生まれの女性で、過去に子宮頸がんワクチンを合計3回受けていない人は、令和7年3月末までの期間限定でワクチンを無料で接種することができます。

詳しくはお問い合わせください。

◆がん検診と合わせ技で早期に対応！

まだまだ「がんは不治の病」というイメージが根強いですが、早期発見・早期治療により9割以上が完治します。また、がん全体でも、約6割が治る時代です。市では、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮頸がん検診を実施しています。ぜひ生活習慣の改善、ワクチン接種の合わせ技でがんを予防しましょう。

◆問い合わせ先 市役所保健課 保健係(内線236)

【1日目】
初めての陸前高田訪問

立教大学では、東日本大震災や復興について、現地での体験を通じて学びを目的とした「陸前高田交流ツアー」を実施しています。

毎回、定員を上回る応募があり、3回目を迎えた今回は陸前高田市を初めて訪問する18人の学生が参加し、2泊3日様々な場所を訪問しました。陸前高田ファンの裾野を広げることが目的としています。

陸前高田交流ツアー

令和6年2月22日(休)～24日(土)、立教大学2023年度春季陸前高田交流ツアーを実施しました。

1日目は、奇跡の一本松ホールで、今泉地区コミュニティ推進協議会会長の菊池満夫さんに、陸前高田市に関する情報や震災当時のお話を伺いました。

その後、「高田民泊」を利用し、学生達は陸前高田市内の各ご家庭で一晩過ごしましたが、地元の方々との楽しい交流のおかげで緊張がほぐれたようでした。

【2日目】
震災・復興について学ぶ

2日目は、午前に高田松原津波復興祈念公園パークガイドに参加し、午後は語り部の米沢祐一さんに、震災当時の体験談を伺いました。震災当時と同様に気温がとても低かったため、リアルな追体験になりました。

その後、陸前高田グローバルキャンパスで、避難所生活について学習し、3・11仮設住宅体験館に宿泊しました。当時の生活を実際に体験することで、多くの学びを得ることができました。



【3日目】
鮮魚シタボでの交流

3日目は、大船渡市の碓石海岸近くで魚屋「鮮魚シタボ」を営む村上さん夫妻を訪問し、地元のお話を伺いました。自分たちで盛り付けした海鮮丼を食べたり、バーベキューをしたりしながら、ご夫妻との交流を楽しみました。



3日間の体験を通じて

参加した学生からは、「陸前高田で暮らす方々との交流を通して、実際に訪問しなければ聞けなかったお話、見られなかったもの、経験できなかったことをたくさん体験することができた」、「想像以上に学びになった。参加してよかった」という感想が聞けました。

短い時間でしたが、地元の方々との交流や様々な体験を通じて、学生たちは震災や復興について多くのことを学び、これからのように日々過ごしていくべきか、考えるきっかけを得ることができました。

巣立ちの春

■ 思い出を胸に新たな一歩

市内小中学校で卒業式

3月13日(水)から19日(火)にかけて、市内小中学校の卒業式が行われました。



「巣立ちの言葉」を伝える卒業生（気仙小学校）

気仙小学校では、保護者や先生、在校生などに見守られながら、卒業生11人が卒業証書を受け取りました。卒業生による「巣立ちの言葉」では、入学から6年間の思い出や感謝の気持ちが告げられ、学び舎での6年を振り返るとともに、未来に向けた新たな一歩を踏み出しました。

令和5年度卒業人数

小学校(8校):100人 中学校(2校):115人

成長の願い

■ さくらの杜プロジェクト陸前高田

卒業記念・桜植樹祭

3月17日(日)、さくらの杜プロジェクト初のイベントとなる「卒業記念・桜植樹祭」が、川原川公園で開催されました。同プロジェクトは、東北最大級の桜の名所づくりを進めるもので、今後10年程度を目途に市内で約3000本の植樹を目標としています。市内小中学生の卒業記念として開催された今回は、参加した約50人が苗木54本を丁寧に植樹しました。



桜の記念植樹を行う子ども達

この春に小友小学校を卒業し、親子で植樹を行った千葉秋月さんは「桜を植えるための土を混ぜるのが難しかった。将来、大きく育った桜を見に来たい」と桜の成長を願いました。

災害に備えて

■ 災害時に役立つ防災レシピを学ぶ

春休み ポリ袋クッキング

3月24日(日)、陸前高田グローバルキャンパスで「春休み ポリ袋クッキング」が開催され、31人が参加しました。



親子で協力して調理しました

当日は、ポリ袋内で材料を混ぜ合わせて湯煎する方法で、「和風ツナマヨパスタ」と「チョコ蒸しパン」の2つに挑戦。災害時でも簡単な調理で温かなご飯が食べられることを学んだほか、災害に備えて各家庭に必要なものをチェックリストで確認し、防災知識を身につけました。

参加した金野智隼さん(広田保育園)は「袋の中で揉んで混ぜるのが面白かったし、どっちもおいしくできてよかったです」と笑顔を見せました。

子ども達が安心して暮らせるまちを目指して

東日本大震災追悼式

3月11日(月)、「陸前高田市東日本大震災追悼式」が、奇跡の一本松ホールで開かれました。

会場には遺族や来賓が参列し、午後2時46分に黙祷を捧げ、献花を行いました。

佐々木市長は「私達は、震災によってこれ以上ない悲しみや絶望を味わったが、この震災の教訓を決して忘れることなく、新たなまちづくりに生かすことを心に誓って復興に取り組んできた。今後も、これまで13年に渡って多くの方々との間で築いた絆や交流を大切に、真の復興に向けて歩みを進めていく。また、将来を担う子ども達に、いつまでも安心して暮らすことができるまちを確実に引き継ぐとともに、この大地震や大津波の教訓を後世に伝え、陸前高田市の豊かな自然や歴史文化などの魅力を生かしながら、みんなが支え合う笑顔のあふれるまちとしていく」と式辞を述べました。



祭壇に向かい静かに手を合わせる参列者



花が手向けられた慰霊碑



午後2時46分に黙祷を捧げました



一般向けに設けられた献花場にも多くの人が訪れました



開催します

歯の悩みがある人におすすめ

ヨイ歯アテレホン相談

県保険医協会では、県民の皆さんの歯に関する悩みについて電話相談を行います。

歯や口に関する悩みについて何でも受け付けていますので、ぜひご利用ください。

◆受付日時：4月18日(木)午前10時～午後7時 ※回答は午後7時以降となります。

◆費用：無料

◆問い合わせ先：県保険医協会
ヨイ歯アテレホン相談係 ☎019(651)7341

北限のゆず研究会

ゆずの植樹会を開催します

北限のゆず研究会では、ゆずの生産拡大に向けて、ゆずの植樹会を開催します。

無料で誰でも参加できますので、ぜひご参加ください。

◆日時：4月27日(土)午前10時～11時頃

◆場所：米崎町字佐野230番地 ※詳しい位置を後日連絡します。

◆募集人数：20人 ※先着順

◆申込方法：申し込みフォームまたは電話

◆申込期限：4月25日(木)

◆その他：①作業を行うため、タオルを持参のうえ、汚れてもいい服装でお越しください。②雨天中止のため、雨天が予想される場合は、開催日の前日まで電話で連絡します。

◆申し込み・問い合わせ先：北限のゆず研究会 ☎090(7339)6447

募集します

東北の「今」を表現

UR都市機構

フォトコンテスト2024

UR都市機構では、東日本大震災からの復興支援の一環として、東北の「今」を伝える写真を募集します。詳しくはウェブサイトをご覧ください。



◆応募期限：5月31日(金) ※最終日消印有効

◆応募方法：郵送、メール、インスタグラム

◆対象：誰でも応募できますが、写真家として報酬を得ている人はご遠慮ください。

◆申し込み・問い合わせ先：UR都市機構フォトコンテスト2024事務局 ☎03(3644)0031

メール：ur.pas@urk.co.jp

「まちづくりリーダー」育成プログラム

育成プログラム

若手大学では、環境問題や地域防災活動の重要性を、地域・学校・職場などへ伝え、そこでの活動を牽引するリーダーを育成するため、地域を支える「まちづくりリーダー」育成プログラムを開講します。

興味のある人はぜひお申し込みください。

◆開催期間：6月1日(土)～11月16日(土)のうち毎週土曜日(全16回) ※変更の可能性があります。

◆対象：環境問題や地域防災に関心があり、実践的な活動を牽引するリーダーとして活躍したい人(18歳以上)

◆定員：20名

◆受講料：2万円

慶 弔

(6年2月16日～3月15日届け出分)

おめでた… ()は保護者・字名

★男の子

矢作	佐々木 瑚生 (惇志・徳前)
竹駒	廣野 太玖琉 (汰耶杜・滝の里)
気仙	立花 光洸 (光貴・水上)
高田	村上 琥珀 (廉・鳴石)
米崎	藤崎 翔 (満・川西)

★女の子

高田	志田 真椰歌 (一朗・裏田)
----	----------------

お幸せに… ()は字名

米崎	紺野 壘・菅野 玲奈 (堂の前)
----	------------------

おくやみ… ()は年齢・字名

矢作	尾堀 幸平 (90歳・信内)
	堀井 利美 (78歳・山崎)
	鈴木 早人 (67歳・清水)
	高野 高ツ (88歳・坂下)
	千野 葉ネ子 (87歳・下小黒山)
横田	伊藤 悦子 (92歳・三田市)
	高木 信好 (63歳・久連坪)
	及川 敬博 (83歳・舞出)
	佐々木 幸子 (87歳・袋沢)
竹駒	村上 勇二 (89歳・相川)
気仙	河野 章 (93歳・愛宕下)

高田

米崎

小友

広田

※届け出人が希望した人のみ掲載
※氏名は通常字体で掲載

泉菅 野政 (53歳・愛宕下)
菅 野政 (82歳・古谷)
紺 野文 (84歳・鳴石)
佐々木 文明 (75歳・鳴石)
熊谷 力也 (67歳・鳴石)
瀬川 朋也 (88歳・中和野)
菅岡 野利 (73歳・中田)
岡 田トメノ (97歳・東和野)
千村 葉子 (57歳・佐野)
村 上キワ子 (87歳・地竹沢)
佐々木 勝芳 (76歳・松峰)
菅原 喜三 (96歳・松峰)
吉田 芳信 (80歳・松峰)
菅原 勝義 (79歳・松峰)
佐々木 義廣 (84歳・和方)
佐々木 義郎 (95歳・三田市)
野呂 照男 (84歳・谷地館)
及川 照 (108歳・茂里花)
佐藤 阿キノ (86歳・矢の浦)
戸 達夫 (89歳・瀬沢)
伊藤 シノブ (101歳・集)
村 上登喜男 (89歳・中沢)
朝倉 茂男 (88歳・田端)
村 上ヒトミ (87歳・田端)
小松 フミコ (97歳・大久保)
村 上清智夫 (87歳・袖野)
藤 上ヨシエ (100歳・長洞)

数字で見る陸前高田市 (令和6年2月29日現在)

市内の火災救急活動 2月

()は1月からの累計

◆建物	0件 (1件)
◆林野・その他	0件 (0件)
◆出動件数	83件 (167件)
◆搬送人員	78人 (162人)

市の人口 (住民登録人口)

()は前月比 出生・死亡数は2月分

男 性	8,459人 (-26人)
女 性	9,091人 (-20人)
計	17,550人 (-46人)
(出生7 死亡45)	
世帯数	7,572世帯 (-9世帯)

市内の交通事故 2月

()は1月からの累計

◆人身事故	1件 (1件)
◆物損事故	20件 (40件)
◆負傷者	2人 (2人)
◆死亡者	0人 (0人)
◆飲酒運転	0人 (0人)

祝いの百寿

多田 多田ミチ子さん (横田町)

大正13年2月16日

横田町生まれ



故・喜治郎さんと結婚後、4人の子どもをもうけ、孫10人、ひ孫15人に恵まれています。体を動かすことが好きで、毎朝欠かさず散歩をしたり、自分なりのストレッチをしたりしています。長生きの秘訣は、真剣になって働いて、自分を持って生活することだそうです。

市ではめでたく満百歳を迎えた人に記念品を贈り、長寿を祝いました。 ※対象期間：2月16日～3月15日(希望した人のみ)

◆募集期間：4月8日(月)～5月24日(金) ※先着順
◆申込方法：地域を支える「まちづくりリーダー」育成プログラムのホームページから申し込み

◆問い合わせ先：若手大学理工学部リーダー育成プログラム事務局 ☎019(621)6447



今月の
おすすめ
レシピ

Recommended Recipe

かぶとあさりのあったかスープ

【1個分】
エネルギー 88kcal
食塩相当量 1.9g



かぶを味わい尽くしましょう

かぶには、カリウムや食物繊維のほかビタミンCが含まれています。ビタミンCは水溶性の性質をもっており、調理によって失われやすい栄養素ですが、スープにすることで水に溶け出した栄養素も摂ることができます。また、葉の部分は緑黄色野菜に分類され、β-カロテンやカルシウムなども含まれています。

今回のレシピは、かぶを角切りとすりおろしにすることで、それぞれの食感を楽しめる一品となっています。

購入時に選ぶ際は、根にツヤとハリがあってひげ根の少ないもの、葉は緑色が鮮やかでみずみずしいものがおすすめです。

★材料（4人分）

- かぶ …………… 500g（5～6個）
- かぶの葉 …………… かぶ1個分
- たまねぎ …………… 100g（中1/2個）
- サラダ油 …………… 大さじ1/2
- あさりの水煮 …………… 1缶（180g）
- だし汁 …………… 500ml
- 薄口しょうゆ …………… 大さじ1/2
- 〔片栗粉 …………… 大さじ1〕
- 〔水 …………… 50ml〕

COOKING
作り方

- ①かぶは皮をむいて、半分は5mm角に切る。たまねぎは粗みじんに切る。
- ②かぶのもう半分を、すりおろす。
- ③かぶの葉は少量の塩（分量外）を加えたお湯で色よくゆで、みじん切りにする。
- ④鍋にサラダ油を熱し、①を炒める。火が通ったら、だし汁を加える。
- ⑤④がひと煮立ちしたらあさりの水煮缶を加え、薄口しょうゆを入れて味をととのえる。水溶き片栗粉を加えてとろみをつける。
- ⑥②を⑤に加えてひと煮立ちさせ、器に盛って③をちらす。

問い合わせ先 市役所保健課保健係（内線235）

きらり輝け
TAKATA★U12

このコーナーでは日ごろ、大会などでの好成績を目指し練習に励んでいる「りくぜんたかた」の子ども達を紹介します。

★U12とは…12歳以下の子ども達のことを意味します。

チーム名(学校名)

★ 気仙リバースSTスポーツ少年団 ★

【団員12人】

- ★監督…^{かね はま みき や}金濱幹也さん
- ★キャプテン…^{ちば しゅうげつ}千葉秋月さん
- ★チームスローガン…健全な心身を養う



キャプテンからのコメント

小友小学校
^{ちば しゅうげつ}千葉秋月さん（6年）

上達に向けて、1つ1つのプレーを意識して練習に取り組んでいます。試合では、チームメンバーと互いに声を掛け合いながら、練習の成果を出し切れるように頑張ります。

（取材日：3月23日(土)）



※市内医療機関および金融機関等の事業所で、広報りくぜんたかたを購読希望の場合は左記発行元へご連絡ください。
※広報りくぜんたかた4月号（No.1165）の印刷経費は1部127.2円（税抜き）、発行部数は7,400部です。

